

「学校経営の方針」

1 学校の教育課題

学・心・体が調和する豊かな人間性を育む

波線は今年度変更

(1) 確かな学力の定着と向上を図る（学；学力向上）

① 「読・書・算」の基礎学力の向上、学習指導要領に基づく基礎的・基本的な知識の定着を図る。

3 学校経営の基本方針

(1) 基本方針設定の理由

- ① 人間尊重の精神を基調とし、学・心・体の調和のとれた豊
的に対応し、夢の実現に向けてたくましく生き抜く児童を育
家庭や地域の協力を得て学校教育目標の具現化を期したい。
- ② 青森県教育委員会、中南教育事務所、平川市教育委員会
の方針と重点」を受けると共に、本校の現状や課題を踏まえ
特色ある学校づくりに努めたい。

(2) 学校経営の基本方針

- ① 「確かな学力」と「豊かな心」を育み、「健やかな体」を育
ア. わかる、できる、楽しい授業の実践を通して児童に成就
礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図るとともに、
イ. 障害を持つ児童の状態や特性をふまえ、社会参加・自立
ウ. 朝読書やボランティア活動、情操教育、その他の全教育
習慣の定着や感性を育み、豊かな心の育成に努める。
エ. 教師と児童が深い信頼関係で結ばれる学級経営に努め、
力の育成に努め、いじめや不登校、問題行動、学級崩壊
オ. 校内外における安全指導を徹底し、事故や事件から児童
カ. 外遊びや自主的な運動の奨励、健康・食育教育への取り
- ② 教職員の資質向上と経営参加（子どもと誠実に向き合う教員

- ⑦ 教師と児童、児童相互、教師相互の心の中に、隙間が感じられないほど深い信頼関係で結ばれている学校。
- ⑧ 心のこもった挨拶が行き交い、保護者や地域住民が気軽に出入りでき、児童はもちろん、教職員、保護者や地域住民が信頼を寄せ、誇りに思う学校。

(2) めざす教師像

- ① 児童と共に考え、共に行き、声をかけ、心の交流を図る学級経営をすすめる教師。
- ② 児童の帰った教室で、今日一日を振り返ると共に、一人一人の児童を思い浮かべる教師。
- ③ 児童の健全育成を目指して家庭や地域と連携を進める教師。
- ④ 豊かな情操を培い児童の心の健康を目指して、校舎内外の環境美化に努める教師。
- ⑤ 児童の変容を目指して研修活動に励み、授業改善に努め、分かる授業の実践に努める教師。
- ⑥ これまでの教育実践を踏まえつつ、新しい魅力ある教育活動を創造し実践する教師。
- ⑦ 楽しい学校生活を築き、望ましい校風の高まりを目指して生徒指導に努める教師。

5 学校の教育目標

たくましく生きる子どもの育成

- ・すすんで学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・体を大切にする子

6 努力目標

- ・家庭との連携を図り、学習習慣の育成に努める
- ・自他を尊重し、相手を思いやる心の育成に努める
- ・健康・安全に気をつけ、体力の保持・増進に努める

7 学校経営の重点 ※文書形態等、全面改定

(1) 学力向上

学ぶ意欲や態度を高めるために、教材提示や調べ活動等を工夫したり、教材研究を深めたりして成就感を持たせる授業を行うと共に、各教科における言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力等の資質や能力を培い、確かな学力の向上に繋げる。

- ① 「読・書・算」の基礎学力の向上、学習指導要領に基づく基礎的・基本的な知識の定着を図るために、学びの質を向上させるべく、授業の改善に努める。
 - ア 反復練習や学習法の工夫で、8割以上の児童に当該学年の漢字と計算を8割以上習得させる。
 - イ 教材研究を深めると共に教材・教具・教材提示に工夫を凝らし、全員集中、全員発表、全員理解をめざした授業を展開することで、学習意欲を高める。
 - ウ 授業の中で、一人一人の児童が活動する場を工夫すると共に、主体的に学ぶ意欲を育て、自ら学び自ら考える力を育てる。
 - エ 読む、聞く、書く、話す、話し合う活動を重視し、理解力、思考力、表現力を高める。
 - オ 日常的な評価で課題を明確にし、学習形態や指導法を工夫して個に応じた指導に努める。
- ② 問題解決的な学習の推進により、学習意欲と主体的な学習習慣の定着を図り、自ら学び自ら考える力を育てると共に、体験的な活動を重視する。
 - ア 各教科や「総合的な学習の時間」において、問題解決的な学習の仕方を身に付けさせ、自ら問題を見つける力、解決の手だての見つけ方と調べる力や筋道立てて考える力を一層育てる。

- イ 「調べる」「作る」「操作する」「伝える」活動を取り入れた授業の実践や、コンピュータ等、情報教育機器を効果的に活用した授業の展開に努める。
- ウ 学力状況調査や教研式CRT、リベロの結果から「指導の強化を要する点」を明確にし、それに対応した指導を徹底して行う。

③ 言語活動教育を中心に伝え合う力を育て、思考力、判断力、表現力を培う。

- ア 各教科の授業において、「話す・聞く・話し合う」活動を実践し、考える力や伝え合う力を育てる。
- イ 全教育活動を通じて、言語活動教育を重視する。

④ 校内研修の充実と現職教育の推進

- ア 研究課題や研究内容を明確にし、提案性のある授業を公開し合い、指導力を高める。
- イ TTや小人数の学習形態を取り入れ、児童一人一人に応じたきめ細かな指導を行う。
- ウ 「さるかっ子」のめあてのうち「すすんで学ぶ子」の重点指導にあたっては、情報交換をし合い、より効果的な手立てを工夫しながら、職員が一丸となって協働指導体制で定着させる。
- エ 校内外での研修に励み、研鑽を積むことで、自身の指導力や資質の向上に努める。

⑤ 社会参加・自立を目指した特別支援教育の推進

- ア 特別支援教育コーディネーターを中心に個に応じた環境づくりに努め、個のニーズに沿う学習教材準備と展開に努める。
- イ 協力学級との交流を通して、当該児童の自立と社会参加意識の向上を図るとともに、全校児童が障害も個性の一つと認めるような指導を行うことで、共に豊かな心が育つよう配慮する。

(2) 心育み

一人の児童を救えないで、どうして20人、30人…210人の児童を育てられるかという強い信念で、児童への気配り、見配りを優先し、友達の気持ちや心の痛みのわかる児童を育てると共に、悲しい思い、寂しい思い、つらい思いで泣いている児童が一人もいない学校を目指す。

① 社会生活に必要な常識や良識を身に付けさせ、望ましい「生き方」の基礎・基本を培う。

- ア 社会性の育成と授業における生徒指導の強化
- イ 機会を捉え社会生活に必要な常識や良識を指導し、学習に即応した学習態度の習慣化を図る。
- ウ 集団行動の仕方を指導し、時や場に応じた望ましい行動ができるようにする。
- エ 集会活動や異年齢集団活動を活性化し、集団の一員としての自覚とリーダー養成に努める。
- オ 係り活動、当番活動、委員会活動等活動できる場を積極的に設定し、実践力の育成に努める。

② 全教育活動を通じた道徳教育の充実と、教師と児童、児童相互の望ましい人間関係づくりに努め、支え合う心の確立を図る。

- ア いじめの根絶、不登校、問題行動、学級崩壊の未然防止に協働体制で指導にあたる。
- イ 児童の日常行動を観察して問題行動の早期発見と早期指導に努めると共に、いじめや不登校などにつながる悩みを発見、克服するための教育相談を充実し、対象児童との心の交流を図り、適切な指導をする。
- ウ 全教育活動を通じて行う道徳教育の充実を図り、内面の醸成を促しつつ、具体的事例や語りかけ等で子どもの心に響く指導をする。
- エ 情報教育に際し、「インターネットガイドライン」に沿って、情報モラル教育を徹底させる。

③ 基本的生活習慣を定着させ、豊かな体験活動を通して内面に根ざした道徳性の育成を図る。

- ア 「さるかっ子」のめあてのうち基本的生活習慣や「思いやりのある子」の重点指導にあたっては、職員が一丸となって、協働指導体制で当たり定着させる。
- イ 校内外における多様なボランティア活動や自然体験活動を奨励し、奉仕や福祉の心を育てる。

④ 教育環境に意を注ぎ、情操教育に努める。

清掃指導や、教室内や校舎内の整理整頓を常に心がけ環境美化に努めると共に、
他の奉仕活動と関連を図りつつ、奉仕の心や美化、環境保護の意識を高める。
自然や芸術鑑賞、花や緑の多い環境作りを通じ、美しいものに感動する心を育てる。
定期巡回し、危険箇所、破損箇所を点検し、修理等必要に応じた対策を即時取る。

豊かな心の育成も、その根本には健康な心と体の育成が必須である。
学校だけではその育成には限りがあるからこそ、意識を高めることを重要課
題として連携を大切にしていく。

感染症の予防・早期対策、食育に努め、健康な体作りへの意識を高める。
生徒会や部活動、兄弟同行の清掃活動等で、清潔な環境づくりに努める。
健康診断や健康相談等の意識を高める授業や活動を充実させ、健康指導の充実を図り、

健康意識を高め、適切な保健指導に努める。

食生活の改善を促すための食と栄養指導の充実に努める。

災害時の対応や、生命と安全を守る安全意識、危機管理意識の高揚に努める。